



兵庫県「まちの子育てひろば」かたつむりランドが開設 7/13(土)西明石第2駅前園で1回目イベント エスカルゴサロンを開催しました！



7/13(土)まちの子育てひろば エスカルゴサロンの第一回目を開催しました。花を飾り、アロマをたき、ハーブティーを飲みながらリラックスした雰囲気の中で、兵庫県から来ていただいたひろばアドバイザーの北野先生に、ご応募いただいた保護者の方が、子育てのこと、家族のこと、家族のかかわりなど、和やかな中、お話をされ、みなさん笑顔でお帰りいただきました。

まちの子育てひろばとは

兵庫県で、子育て中の親子が気軽に集い、仲間づくりを通して子育てに関する相談や情報交換等を行う「まちの子育てひろば」の開設を進めており、この度かたつむりランド全園で開設が可能になりました。

地域の子育て支援における拠点として今後も積極的に開催します。

●「動く・こどもの館号」の派遣

県立こどもの館の「動く・こどもの館号」をひろばに派遣し、体験活動指導員が絵本の読み聞かせや人形劇、工作づくり、伝承遊び等の実践指導を行い、ひろばでの親子の活動を支援します。

●「ひろばアドバイザー」の派遣

子育てに関係する有資格者や遊びの指導等ができる「ひろばアドバイザー」をひろばに派遣し、お母さんたちが抱える心配や悩み事の相談を受けたり、遊びなどのアドバイスをを行います。

●「まちの子育てひろばコーディネーター」による支援

男女家庭科に配置している「まちの子育てひろばコーディネーター」が、子育てに関する情報を適宜提供するとともに、ひろばでの企画や運営に関する相談などに応じ、ひろば運営を支援しています。

エスカルゴサロン開催希望の園は本部まで問合せ下さい。

先生紹介コーナー 西明石園 石塚 麗香リーダー



【仕事への意気込み】

子ども達が安心して過ごせるような保育を心掛けていきたいと思えます。

みんなが、笑顔溢れる優しい雰囲気のある保育者になりたいと思えます。

保育者同士、連携を取り合いみんなでより良い保育を目指していきたいと思えます。

【休日の過ごし方】

・服が好きでショッピングをよくする。

・映画鑑賞

【好きなコト・モノ】

・服

・キティちゃん

各園のヒヤリハット報告

●西明石園

- 朝の時、走ってはいけない場面で走る園児がいておでこをぶつけていた。
→今はまだ走らないよ、と声掛けした。
- 自由遊びの時、2歳児がマットのところで遊ばず、走り回っていた時、1歳児女児が転倒。こけた際、頭を打って泣いた。近くに先生がいたが支えるのが間に合わなかった。
→転倒や事故等起きないように近くで見守る。
- 製作中、道具箱が気になって見に来る子が多い。
→ハサミも入っているので気を付けていく。
- 体操時、他の園児を押してこけそうになり他のお友達にあたりそうになった。

●明石伊川谷園

- プール時、1歳児が足を滑らせてプールの中でひっくり返りそうになった。
→プールに職員が一人入っておき、すぐに助けられるようにしておく。
- 1歳児がお友達の腕に噛みついた。
→してはいけないことを繰り返し伝える。気持ちを代弁して相手に伝える。



●西宮園

- 小さく丸めた粘土を耳に入れた子どもがいた。
→しないであろうと決めつけず傍で遊びを見守り、すぐ対応できるようにする。
- 部屋を仕切っているサークルを倒してそのまま後ろに倒れる。
→子どもがサークルを揺らしたり、体重をかけると倒れてしまうので、止めるように声かけを徹底する。

●川西能勢口駅前園

- 散歩中足がもつれ、つられて一緒に手をつないでいる子どもも転倒しそうになった。
→傍で手をつないでいるので未然に防げた。
- お友達の玩具を使いたくて押して取ろうとした。
→言葉がまだ出にくい子どもは手が先に出してしまうので十分見守りが必要だと思う。

●西明石駅前園

- 発熱した子どもがおりべビーベッドに寝かせていたが、柵につかまって立ちあがった時に柵がしっかり固定されておらず下に降りてしまった。怪我はなかったが指を詰めたり転落したらと思うとぞっとした。
→べビーベッドの向きを変えて柵があるほうを壁に付けるようにした。使用時には柵がしっかり上がりきっているか、固定されているか確認するようにする。
- プールから上がった後、室内に入ろうとしたが水で滑り前方に転倒。
おでこをドアの下にぶつける。
→芝生マットを敷いて転倒防止はしていたがそれでも転倒した。部屋の中にはいりきるまでは手をしっかりつないでおくなど配慮していく。
- プール後の水着を脱いでシャワーをするスペースに囲いが無く、
子どもの裸が通りを通る人に見えてしまう。
→本部の方と相談し、物干ざおとゴザなどで囲いを作ってもらう。

●道場南口園

- 朝の会の絵本の読み聞かせの途中、1歳児の園児が椅子ごと後ろに倒れそうになる。
→乳児は姿勢保持が難しいところがあるため、職員が必ずつき、未然に防ぐようにする。
- ねんど遊びを始めて少ししてから、ほし組の子どもが小さい粘土を口に入れたが、
すぐに気付いて口を開けて取り出す。
→遊ぶ前にしっかりと教え、手の届くところに座って誤飲等を防ぐ。

●宝塚南口園

- おもちゃを口に入れる子がいるので、飲み込まないよう注意して見ていきたい。
- スリッパを履いて水遊びを見守っていたら、自分が滑って転びそうになった。
- エアフロント下河原はとても良いところだったが、猫の糞がたくさん落ちていた。
- ボールプールの中でぎゅうぎゅうになり足が相手の顔にあたりそうになっていた。
- 自分が遊んでいたおもちゃを取られて子がかーとなり近くのおもちゃを投げつけた。
的が外れたが、当たっていたら大けがだった。

- サーキットででんぐり返しをしている子を見ていたら、手を使わず首だけで回りかけたので、急いで支えた。
- オムツ交換の時、大人が嫌がる園児の手を引いたところ、腕をおさえて痛がった。受診したところ、抜けていたとのこと。子どもの誘導の仕方を見直さなければいけない。
- 大人に対しても噛む子がいる。目を離せない。
- ベビーサークルに3人子どもがもたれていてそのまま倒れた。途中にある支えが少ないように思う。

●西宮えびす園

- 0歳児に興味を持った1歳児が馬乗りになりそうになった。
→0歳児の後ろに保育者がいるようにし、関わる際は近くで見守り、声をかけてどう接したらいいか1歳児に伝える。
- 水遊びの際プールの縁に登ったり下りたりしようとして頭からこけそうになる。
→全方向に保育者がいるようにし、子どもにこまめに声をかける。
- 室内に虫が増えてきた。
→朝来た時に部屋の中や外回りをして、駆除をし、見つけた際は速やかに処分する。



●西明石第2駅前園

- マンションの改修工事始まったので、音で怖がる園児がいらないかどうかよく確認をし、外に出るときは今まで以上に気をつける。
- 食事中に眠くなる園児が何人かいるので、よく見ながら食事介助に入り、口の中に食べ物が残らないように気をつける。

●さんだ南が丘園

- プールに入っているとき、となりにいたお友だちの肩をなにもしていないのにつねる子がいた
- お着換えの準備のために端に寄った時に、側にいる子を背中にあざができるくらいかんだ
- 自分の水筒でお友だちの頭を叩いた。

各園から様々なヒヤリハット報告がありました。皆さんで確認しあいをして共有し、予測される危険を取り除くようにしましょう。

かたつむりランドではキャリアアップのための研修受講を定期的に行っています。

7月度研修：

●西宮市立子育て総合センター実施 研修会場：あおぞら幼稚園

7/20(土)第4回チャレンジ研修

研修受講者：稲野公子・水谷美華・永田裕美・小淵莉奈

●保育士等キャリアアップ研修

西宮市私立保育協会実施 研修会場：武庫川女子大学

7/9(火)・7/26(金)・7/30(火)食育・アレルギー対応

研修受講者：稲野公子・水谷美華・村瀬友実

7/27(土) 保護者支援

研修受講者：田村道人・山下和美・稲野公子・村瀬友実・堂本さゆり

●保育士等キャリアアップ研修 神戸市私立保育連盟実施

研修会場：エスタシオン・デ・神戸

7/12(金)・7/26(金)幼児教育 研修受講者：佐藤智

●神戸市公私合同研修 研修会場：たちばな職員研修センター

7/25(木) アレルギー疾患の理解 研修受講者：今井あゆみ